

平成28年度 田原小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

豊かな心や健やかな体を持ち、自ら考え、取り組み、判断し、
新しい時代を創造的に生きる児童を育成する。

- (1) かしくく ― よく考え がんばりぬく子ども
- (2) なかよく ― すなおで 思いやりのある子ども
- (3) 元気よく ― じょうぶで 明るい子ども

【今年がんばる4つのめあて】

- めあてをもってねばり強く学習に取り組もう
- 気持ちの良いあいさつを心がけよう
- 正しい言葉づかいを身につけよう
- たくさんの友だちと元気に外遊びをしよう

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

次代を担う児童一人一人が、社会的自立を果たして未来を創造的に生きていく力を身に付けることができるよう、教職員がそれぞれの持ち味を発揮しながら、家庭・地域と連携し、共に本校の教育を担う者として英知と熱意を結集することにより、一体感のある活力に満ちた教育活動を展開する。

児童の発達の段階や個人差に目を向けつつ、同時に、人としての成長は、望ましい集団の中で保障され、促進されることを重視し、常に「個」と「集団」の双方の視点を持ちながら、教育目標の達成を目指して、あるべき学校教育の姿を追求し続ける。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

(1) 児童一人一人が大切にされていると誰もが実感できる学校

「田原小は、児童一人一人を大切にし、温かい雰囲気包まれている」と、児童・保護者・地域住民の誰もが実感できることが、学校に対する信頼感を生み、日々のさまざまな取組が教育的に意味をなす母体となる。

(2) 児童・教職員の双方にとって居心地の良い学校

優しさ（母性）と厳しさ（父性）のバランスの上に、「護られている感覚」や「伸び伸びと自分を表現できる安心感」が生まれ、「居心地の良さ」や「楽しさ」につながる。この点においては、児童・教職員とも同じである。

(3) 児童に内在する「育つ力」が十分に発揮される学校

～ 確かな学力、健康な体と体力、豊かな心と社会性の育成 ～

児童が生涯にわたって自分らしさを発揮しながら、社会的自立を果たし、充実した生活を送ることができるよう、発達著しい児童期に必要な学習や体験を十分に積ませる。個々の児童が持つ「育つ力」を引き出し、可能性の芽を膨らませていく。

(4) 家庭や地域と連携して教育効果を高める開かれた学校

教育資源として家庭・地域の活用を図り、活動の幅を広げることににより、教育効果を高める。地域のシンボリック的存在として、主体性を発揮しつつ、敷居を低くして積極的に地域に開いていくことが、地域に愛され、見守られる安全な学校環境づくりにもつながる。

(5) 教職員が連帯協働し、共に高め合いながら質の高い教育を提供する学校

教育活動の中核をなす授業や学級経営などについて、教職員が学年を超えてオープンに、日々の実践や指導上の悩みなどを語り合える雰囲気を大切にする。各教職員が、自由闊達に交流することが、和やかな学校の雰囲気を形成し、質の高い教育の提供に反映される。

(6) 校務を適正に処理し、組織として社会的責任を果たす学校

教育目標の達成に向けて、学校運営が滞りなく進行していくために、教職員一人一人が法令を遵守し、教育公務員としての自覚と使命感を持って、学校運営に係るさまざまな校務の処理を適正に行う。すべての教職員が、学校を代表する存在であることを常に念頭に置いて職務に当たる。

[田原地域学校園教育ビジョン]

自らすすんで何事にも取り組む子どもの育成

4 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

「魅力ある学校づくり地域協議会」と連携し、地域の教育力を活用した教育活動を展開するとともに、積極的な情報発信と学校開放、地域との交流活動を通して、家庭や地域から信頼され、地域に開かれた学校づくりを推進する。

【学 習 指 導】

かかわり、見つめ、学びをつなげていく児童の育成

【児 童 生 徒 指 導】

○進んであいさつをし、相手の気持ちを考えて行動できる児童の育成

【健康（保険安全・食育）・体力】

○実践的な基礎知識を学び、進んで健康の保持増進と体力の向上を目指す児童の育成

～自ら進んで身体を鍛える体育活動の企画と実践～

- ・運動習慣の定着と体力の増進（持久力・投力）
- ・児童生徒の心と体の健康づくり
- ・丈夫な体をつくるための食事のとり方の指導

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項 目	評価項目	主な具体的な取組	方 向 性	評 価
学 校 運 営 の 状 況	A 1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】全体アンケートの「私は今の学校が好きです」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 学校評価や学校行事の反省等を生かし、児童が生き生きと活動する教育活動を行い、活気のある学校づくりに努める。 ② 集会活動・体験活動などを工夫し、児童が生き生きと活動できるよう努める。 ・縦割り班活動の充実 ・外部講師等による体験活動の充実 ・児童集会・音楽集会の充実 ③ 教育相談の機会を生かして、より良い人間関係づくりに努める。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】全体アンケートの「先生方は、大切なことを熱心に指導してくれる」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 全職員が学校経営に参画意識をもって、協力して教育に当たるように努める。 ② 児童一人一人をよく見取り、声をかけ、よく話を聞き、良いところは認め、指導すべき事はしっかり指導する。 ③ オープンスクール、授業参観等を工夫していろいろな学習の様子を公開し、学校理解を深めるよう努力する。		【達成状況】 【次年度の方針】

A 3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】全体アンケートの「授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 学校でのきまりを徹底するために「田原小のやくそく」や「よい子の一日」を提示し、教職員が共通理解の下、生活指導はもちろん、学習指導や日課等でも、きまりを守ることの大切さを繰り返し指導する。また、きまりの定着のため家庭との連携も図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】全体アンケートの「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 各教科で標準授業時数（文科省）を確保するとともに、「基礎学習の時間」において、漢字・計算・音読などを発達段階に応じて取り入れ、基礎的・基本的な内容の確実な定着が図れるよう努める。 ② 一人一授業公開を目標に、「わかる・できる・楽しい」授業の工夫に努める。 ③ 「田原っ子の学び」を継続実践して主体的に学習する態度を育てる。	
A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】全体アンケートの「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 年4回「いじめアンケート」を実施し結果をもとに担任が関係児童との教育相談を行い、解決を図る。解決が不十分な場合は、いじめ対策委員会による解決を図る。 ② 年2回の「いじめ根絶強化月間」に合わせ、標語・学級宣言文・個人の意見文を作成・掲示することにより、個々の児童の意識を高めるようにする。 ③ 「いじめのなかよし集会」を行うことにより、学校全体の意識を高める。 ④ いじめ根絶への取り組みを保護者にも伝え、協力を得やすくする。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】全体アンケートの「私の学校生活や様々な活動は充実している」⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 小中一貫教育の趣旨を踏まえ、夏季休業中の授業実施や土曜授業、日課を工夫することで授業時数を確保する。 ② 児童の主体的な活動や体験的な活動を取り入れ、行事ごとに評価を実施し改善を図るようにする。	
A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。 【数値指標】全体アンケートの「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」⇒保護者の肯定的回答 85%以上	① 「オープンスクール」や授業参観等を学期に2日以上実施し、学校公開を保護者だけでなく、地域に向けても積極的に行う。 ② 学校だよりを毎月1回発行するとともに、ホームページを定期的に更新して、保護者や地域住民など多くの人に知らせる。	【達成状況】 【次年度の方針】

教育活動の状況		A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。 【数値指標】全体アンケートの「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し楽しい」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携を強化し、学校・保護者・地域住民が一体となって、教育活動の充実と活性化を図る。 ② 授業ボランティア（地域の外部講師・街の先生）と連携した授業を計画的に実施し、その成果についても広く情報発信するよう努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
		A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】全体アンケートの「学校は、清掃が行き届き、荷物や備品などが整理整頓され、学習しやすい環境である」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 毎月、施設・設備の安全点検を実施し、修繕・補修を迅速に行い、学習にふさわしい環境づくりに努める。 ② トイレと水道周りは、常にきれいに維持できるように、使用法の徹底を図るとともに、清掃活動において重点的に指導する。	【達成状況】 【次年度の方針】
		B 1 学校は、事故防止・安全対策に努めている。 【数値指標】全体アンケートの「学校は事故防止や安全対策に積極的に取り組んでいる」 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上	③ 月1回の全校下校、毎日の学年下校、交通安全教室、不審者対応避難訓練、引き渡し訓練を実施する。 ④ 家庭・地域との連絡体制（田原小安全対策連絡会による防犯パトロール・子ども110番の家・保護者、地域への情報提供）を継続し実施する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	学生生活	A 10 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】全体アンケートの「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 地域学校園で毎月第2週をあいさつ週間とし、その実施方法を工夫し、地域とも協力して基本的生活習慣の育成を図る。 ② 地域協議会と連携し、あいさつ標語を募集し、優秀作品を掲示するなどして、あいさつへの関心・意欲を高める。 ③ 保護者・地域の方にも模範として児童へ積極的にあいさつの言葉をかけていただくよう依頼する。	【達成状況】 【次年度の方針】
		A 11 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】全体アンケートの「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 気持ちよい言葉づかいや返事について共通理解を図るとともに、日常的な指導を繰り返し実施し、保護者にも協力を呼びかける。 ② 職員室入室時のあいさつ訓練等を継続指導する。	【達成状況】 【次年度の方針】

健康・体力	A12 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】全体アンケートの「児童は休み時間や放課後などに進んで運動している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 元気っ子健康体力チェックの結果などをもとに、定期的に重点運動を決めて、児童が目当てを持って運動に取り組めるようにする。 ② 体力や技能を向上させるための取り組みを、年間を通して実施する。 ・縄跳び、水泳、鉄棒の検定カードを活用する。 ③ たわらの時間や昼休みに外遊びを奨励する。遊び塾を通して異学年交流や遊びの種類を増やす。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A13 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】全体アンケートの「児童は、好き嫌いなく給食を食べている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 栄養職員と連携した食育に関する授業を計画的に取り入れる。 ② 給食便りを毎月1回発行し、栄養面を含め食育や健康に対する家庭の意識の高揚を図る。 ③ 家庭との連携を図り、食育の啓発に努めるとともに、「お弁当の日」の計画、実施を進める。 ④ 栄養職員とのTT授業をさらに進め、栄養や残菜への関心を高める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B3 児童は、自分の健康のために、手洗い・うがい・歯磨きを進んで行っている。 【数値指標】全体アンケートの「自分は、健康のために、手洗い・うがい・歯磨きを進んで行っている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 保健便りを発行し、健康な生活習慣を身につけるための情報発信をする。 ② たわらの時間や昼休みなどの外遊びの後、給食後の場面で、手洗い・うがい・歯磨きの励行を呼びかける。 ③ 長期の休み以外にも、うがいカレンダーや歯磨きカレンダーを時折実施して、意識を継続させる。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A14 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート「児童は授業中に進んで話合い、分かりやすく発表するなど、積極的に学習している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 授業の準備を忘れず、休み時間のうちに用意する。 ② 1時間に一回発表を目標に授業に取り組ませる。 ③ 話し合い活動を積極的に取り入れる。 ④ 板書したことをきちんとノートに書き写したり、工夫してノートにまとめたりすることができるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A15 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート「児童は授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① チャイム着席を守らせる。 ② 授業中の姿勢や話を聞くときの態度について指導する。(合言葉で意識づけを図る。) ・姿勢の日の指導を継続する。 ・「足はぺったん・背中はピン・おなかと背中にグーひとつ」 ・「話をします」「目を見ます」	【達成状況】 【次年度の方針】

本校の特色・課題等	B 2 児童は、家庭学習の習慣が身に付いている。 【数値指標】全体アンケート「私は、宿題や自主学習を進んで行っている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 毎日宿題を出す。 ② 自主学習の内容を指導する。模範的な自主学習の内容を紹介する「自主学習のすすめだより」を発行する。 ③ 「家庭学習のすすめ」を通して家庭の理解・協力を得る。	
	B 4 本を読むことの楽しさや大切さがわかる。 【数値指標】全体アンケート「私は、進んで読書をしている」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 心穏やかに読む、静かな朝の読書（朝の活動）を週 2 回実施する。 ② ボランティアによる「読み聞かせ会」を学年・クラスごとに行うよう年間を通して計画し実施する。 ③ 親子読書を奨励する。 ④ 図書室の開館時間を増やす。 ⑤ 家読を家庭に定着させる。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B 5 地域の特色を生かした学習の充実を図ることにより、地域を愛する心が育っている。 【数値指標】全体アンケート「私は、地域や企業の人たちと一緒に、地域の自然や文化などについて学習をして、田原の地域のが好きになった」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 保護者・地域社会との連携を図り、体験活動を重視した地域の特色を生かした学習などを実施し郷土愛の育成を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

6 学校関係者評価

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。